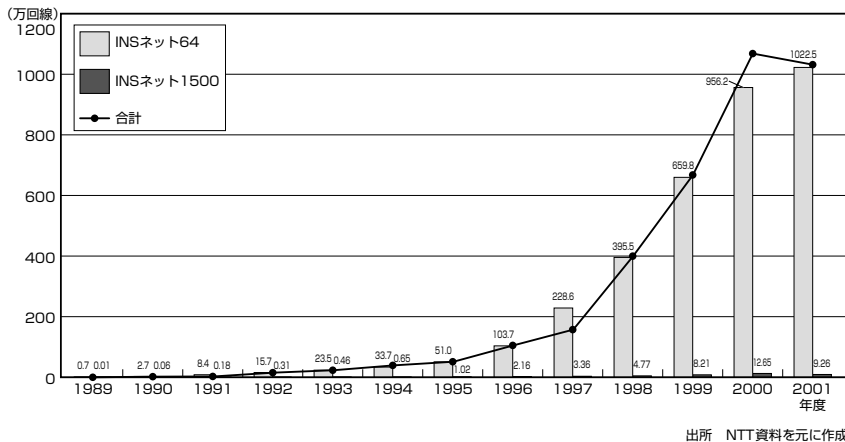
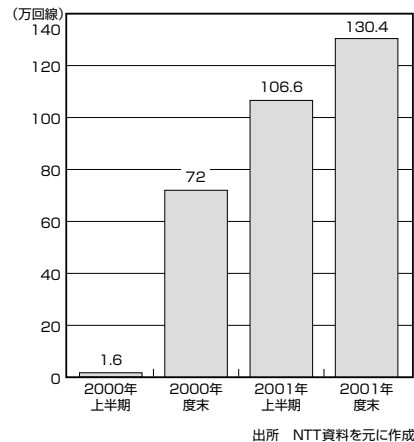


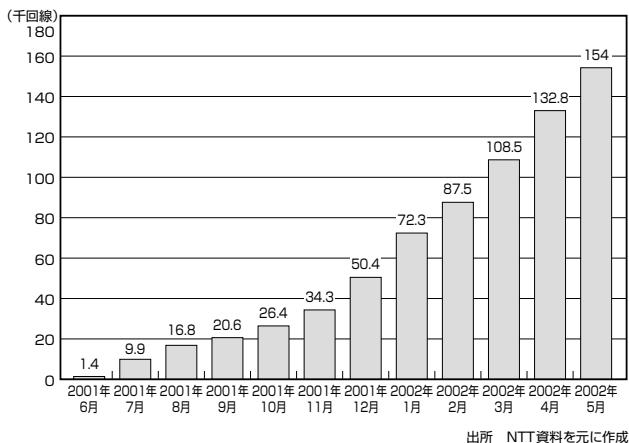
資料4-1-15 INSネット契約回線数の推移



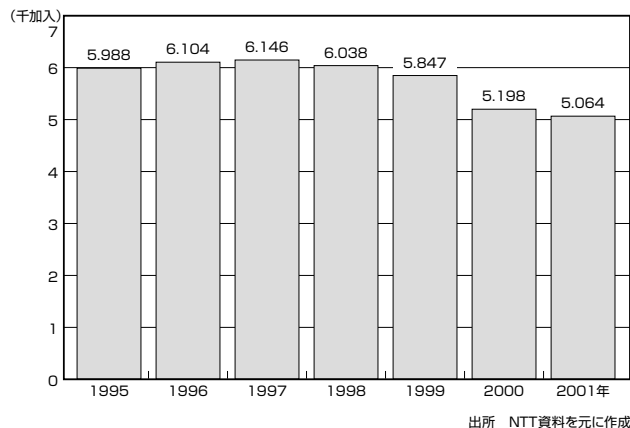
資料4-1-16 フレッツ・ISDN契約数の推移



資料4-1-17 Lモード申し込み数



資料4-1-18 NTT一般加入電話契約数



解説

2年ほど前から始まったCATVやxDSLなどの本格的な普及によって、通常の電話回線やISDNなどはアクセスラインとしては力不足となった。資料4-1-15のINSネット契約回線数の推移をみると、年を追うごとに伸びが鈍化していたのだが、ついに今回、総数が減少することになった。特にINSネット1500の減少が大きい。NTTでは、INSネット1500をINSネット64の10回線分として総数を出しているが、2000年度の12.65万回線から2001年度は9.26万回線と大きく落ち込んだ。INSネットの契約回線数は、今後も減少

傾向にある。INSネット64単独でも、近いうちに減少に向かうことも考えられる。

定額制で使い放題のフレッツ・ISDNは、ISDNサービスの中ではインターネットを考えるうえで唯一有効な手段であり、資料4-1-16を見るとサービス開始から契約数は増加している。しかし半期当たりの伸び率は、2001年度に入って1.5倍にとどまっている。もはや128kbpsという速度では、インターネットは楽しめないという判断が働いているわけで、これからも伸びはそれほど期待できないだろう。

資料4-1-17は、昨年6月からサービス

が始まったLモードの申し込み数だ。11万回線と伸びてはいるが、爆発的な人気とは言えない。ISDN回線の減少や、資料4-1-18の一般加入電話回線の減少を考慮すると、利用者を惹きつける魅力がないと、苦戦することになるだろう。

一般加入電話回線やISDNは全国どこでも利用できるの、一般的なアクセスラインとしての魅力はある。しかし、今後携帯やPDAによる接続や、無線インターネットなどが普及するにしたがって、この魅力も薄くなっていくだろう。

(井上尚司 武蔵野美術大学造形学部助教授)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp